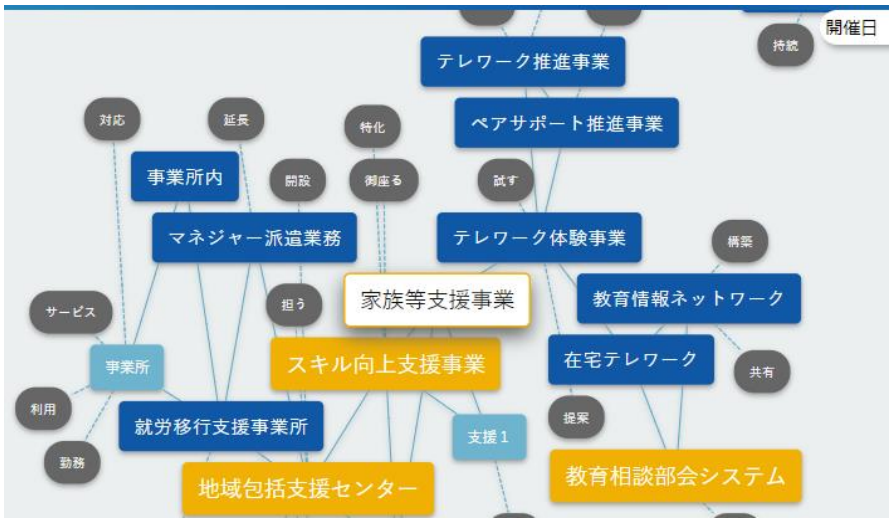
自治体初

会議の内容が一目で分かる！ ～視覚化システム～

令和4年5月26日、議会会議録と連携した視覚化システムを試行導入しました。自治体としては初の取り組みです。

このシステムにより、例えば、ある日にどのような会議が行われたか、概要を知りたい場合は、会議の種類（定例会・臨時会・委員会など）と日にちを入力することで検索できます。また、特定の議員が過去にどのような発言をしたかを知りたい場合は、その議員と期間（今までの発言全て、または発言があった日付の会議）を設定することで、どのような発言や議論を行ったのか、どんなトピックを中心に議論を繰り広げてきたかを表示することができます。



令和2年第4回定例会（2日目）の表示例

会議録視覚化システムとは？

市民の理解度や議会への関心の向上を支援することを目的として、会議の全体像を、全文表示の会議録よりも分かりやすくするため、会議中に発言されたワードの関係性を視覚的に把握できるシステムです。 AIが議事録を解析し、発言の中から重要語句（トピックワード）と、それらに関連した語句（イベントワード）を抽出し、線で結んでグラフ表示することで、会議内容を一目で分かるようにしています。右のQRコードから詳しい操作方法と視覚化システムをご利用ください。

画面上のワードをクリックすると、議員がどんな発言をしたかを見ることができます

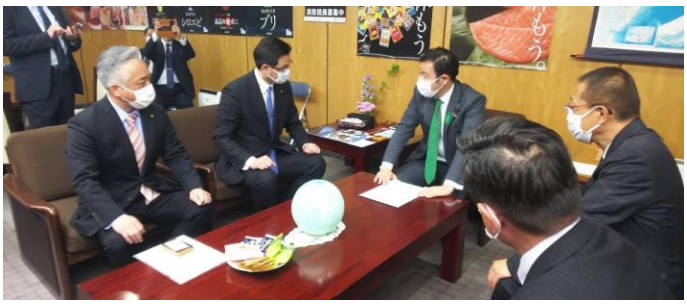
視覚化システムの操作方法

視覚化システム

オンライン本会議の実現に1歩前進 ～国に要望書を提出～

4月20日、金澤取手市議会議長と滋賀県大津市議会、滋賀県市議会議長会が合同で、デジタル庁、総務省、自由民主党本部を訪問し、オンラインで議会の本会議を開くために必要な地方自治法改正を求める要望書を提出しました。

デジタル庁を訪問し、小林史明副大臣に要望書を提出



総務省を訪問し、田畑裕明副大臣と意見交換する金澤議長

取手市議会では、令和3年12月14日に「オンライン本会議の実現に必要となる地方自治法改正を求める意見書」を可決。この意見書は、令和3年11月2日に大津市議会が取手市議会を訪問した際に、当時の取手市議会議長の齋藤久代、議会事務局職員と意見交換し、共に自治法改正に向けて活動していくことについて一致したため、提出に向けた動きが加速していったものです。

国の動きは…

6月3日、衆議院では、本会議へのオンライン出席を可能とするための「地方自治法の一部を改正する法律案」が提出され、審査が行われています。取手市議会だけでなく、全国でオンライン本会議実現のための活動が活発になっています。